令和元年度

玉城町社会福祉協議会
事業報告書

（平成３１年４月１日～令和２年３月３１日）

社会福祉法人　玉城町社会福祉協議会

目　　次

１．法人運営
（１）法人運営の経営体制の強化　・・・・・　3
（２）会員制度等の推進　・・・・・　6
（３）社会福祉協議会の役割や活動周知　・・・・・　6
（４）役員・職員等の資質向上研修の取り組み　・・・・・　7
（５）各種関係機関・団体との連携強化　・・・・・　7

２．地域福祉事業の推進
（１）身近な地域で福祉サービスを享受できる地域づくり（老人福祉活動事業）　・・・　11
（２）積極的に社会参加できる環境づくり（福祉育成・援助活動事業）　・・・・・　13
（３）ボランティア活動と福祉教育の推進（ボランティア活動育成事業）　・・・・・　15
（４）障がい者の自立と社会参加の促進（障がい児・者福祉活動事業）　・・・・・　19

３．相談・援助事業の推進
（１）福祉相談機能の充実強化　・・・・・　20
（２）低所得者世帯の生活安定事業　・・・・・　20
（３）福祉サービス利用に関する相談援助事業　・・・・・　20

４．受託事業の運営
（１）バス事業（研修バス・福祉バス・元気バス・すまいるバス）　・・・・・　21
（２）各種福祉団体事業の運営　・・・・・　22
（３）ＩＣＴふるさと元気事業の運営　・・・・・　22

５．募金活動の推進
（１）日本赤十字社募金と地域福祉活動　・・・・・　23
（２）共同募金と歳末助け合い活動　・・・・・　23
（３）災害義援への協力及び活動　・・・・・　23

６．在宅福祉事業の運営
（１）介護保険事業の推進と実績　・・・・・　24
（２）障害者支援事業の取り組みと実績　・・・・・　24
（３）移送サービス支援事業　・・・・・　25

７．地域住民からのニーズ事業実施
（１）シルバー人材センター事業　・・・・・　25

令和元年度の事業報告

理念：笑顔広がる　人づくり　地域づくり　つながりづくり の実現に向けて

昨年は、「平成」から「令和」と新たな元号がスタートしました。
「第２期地域ふくし力向上計画」も最終年度となり、目標達成に向けた実行、評価を行い次期計画「第３期地域ふくし力向上計画」を策定することができました。
なかでもその推進力となる『たまき人（びと）』が、町の取り組むレジ袋削減事業の一助として苗づくりから配布まで参加したり、「たまきのいいところ」再発見のため的山に登ったりして、自らが行動し地域力、福祉力を確認しあいました。
一方で、福祉協力員活動の一つとして地域の見守り事業が整えられず、昨年の民生委員児童委員改選時に２４名の福祉協力員が誕生したのを機に、第３期計画へ新たな仕組みづくりを継続しました。
介護保険事業、障がい者事業においては、利用者のプランならびに支援事業者として地域ニーズに応えることができているとはいえ、支援者となりうるマンパワー不足は解消できていない状況が続きます。
今後も、職員一人ひとりが地域の社会福祉の担い手として、法人改革に努めるとともに、公益的な活動に積極的に取り組み、地域福祉を大きく発展させていきたいと考えています。

１．法人運営

（１）法人運営の経営体制の強化

①理事会

	開催日	議　　題	
第１回 理事7名 監事2名	5月24日	報告第１号	シルバー人材センター就業報酬単価について
		議案第１号	平成３０年度玉城町社会福祉協議会事業報告について
		議案第２号	平成３０年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分社会福祉拠点区分会計決算について
		議案第３号	平成３０年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分障がい福祉拠点区分会計決算について
		議案第４号	平成３０年度玉城町社会福祉協議会公益事業区分公益拠点区分会計決算について
		議案第５号	第１回評議員会の開催について
第２回 理事7名 監事2名	6月21日	議案第６号	会長・副会長の選任について
第３回 理事８名 監事１名	11月20日	報告第２号	令和元年度玉城町社会福祉協議会事業中間報告につ
		報告第３号	令和元年度玉城町社会福祉協議会事業収支状況中間報告について
		議案第７号	評議員の解任及び推薦について
		議案第８号	職員給与規程の一部改正について
第４回 理事８名 監事２名	3月13日	報告第４号	玉城町シルバー人材センター就業報酬単価について
		議案第９号	副会長の選任について
		議案第10号	令和元年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分社会福祉拠点区分会計補正予算（第１号）（案）に
		議案第11号	令和元年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分障がい福祉拠点区分会計補正予算（第１号）（案）について

		議案第12号	令和元年度玉城町社会福祉協議会公益事業区分公益拠点区分会計補正予算（第１号）（案）について
		議案第13号	令和２年度玉城町社会福祉協議会事業計画（案）について
		議案第14号	令和２年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分社会福祉拠点区分会計予算（案）について
		議案第15号	令和２年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分障がい福祉拠点区分会計予算（案）について
		議案第16号	令和２年度玉城町社会福祉協議会公益事業区分公益拠点区分会計予算（案）について
		議案第17号	令和元年度第３回評議員会の開催について

②評議員会

	開催日	議　　題	
第１回 評議員10名 監事1名 副会長	6月7日	報告第１号	シルバー人材センター就業報酬単価について
		議案第１号	平成３０年度玉城町社会福祉協議会事業報告について
		議案第２号	平成３０年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分社会福祉拠点区分会計決算について
		議案第３号	平成３０年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分障がい福祉拠点区分会計決算について
		議案第４号	平成３０年度玉城町社会福祉協議会公益事業区分公益拠点区分会計決算について
		議案第５号	理事及び監事の選任について
第２回 評議員12名 副会長	12月13日	報告第２号	評議員の選任について
		報告第３号	令和元年度玉城町社会福祉協議会中間報告について
		報告第４号	令和元年度玉城町社会福祉協議会収支状況中間報告について
		議案第６号	職員給与規程の一部改正について
		議案第７号	理事の選任について
第３回 評議員11名 副会長	3月19日	報告第５号	玉城町シルバー人材センター就業報酬単価について
		議案第８号	令和元年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分社会福祉拠点区分会計補正予算（第１号）（案）について
		議案第９号	令和元年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分障がい福祉拠点区分会計補正予算（第１号）（案）について
		議案第10号	令和元年度玉城町社会福祉協議会公益事業区分公益拠点区分会計補正予算（第１号）（案）について
		議案第11号	令和２年度玉城町社会福祉協議会事業計画（案）について
		議案第12号	令和２年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分社会福祉拠点区分会計予算（案）について
		議案第13号	令和２年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分障がい福祉拠点区分会計予算（案）について
		議案第14号	令和２年度玉城町社会福祉協議会公益事業区分公益拠点区分会計予算（案）について

③監事会

	開催日	議　　題
第１回 監事2名	5月16日	・平成３０年度玉城町社会福祉協議会事業報告について ・平成３０年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分社会福祉拠点区分会計決算の監査について

		・平成３０年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分障がい福祉拠点区分会計決算の監査について ・平成３０年度玉城町社会福祉協議会公益事業区分公益拠点区分会計決算の監査について
第２回 監事２名	11月11日	・令和元年度玉城町社会福祉協議会中間監査について

④評議員選任解任委員会

第１回 委員５名	11月25日	議案第１号　評議員の解任・選任について

⑤主任会議　月１開催

健全な経営基盤を確立し、住民に効果的・効率的なサービスを提供するため、主任以上の職員を対象に開催。財務、人事、事業に関してさまざまな検討を行いました。

	開催日	議　　題
第１回	4月11日	・ 平成30年度決算資料作成のお願い ・ 赤十字社員増強運動月間のお願い ・ 田丸城跡クリーン作戦について ・ 職員健康診断について ・ 予防接種について ・ 「元気ですたまきまつり」の開催について
第２回	5月9日	・ 「元気ですたまきまつり」の開催について ・ 田丸城跡クリーン作戦について ・ 令和元年度社協会費（職員対象）のお願い ・ 夏季における職員の健康管理について ・ 制服について
第３回	6月13日	・ 「元気ですたまきまつり」の報告について ・ 一時金について ・ 切手保管場所の変更について ・ 保健福祉会館について ・ 交通安全の徹底について ・ 全体研修について（8/28）
第４回	7月11日	・ 苦情について ・ 人事異動について ・ 職員健康診断結果について ・ アスピア夏祭りについて
第５回	8月8日	・ 職員面談について ・ 体調管理について
第６回	9月12日	・ 地域福祉座談会について ・ 赤い羽根共同募金について ・ 田丸城跡クリーン作戦について ・ ボランティア活動について ・ 社協会費増強運動について ・ 人事について
第７回	10月10日	・定期監査資料の作成 ・令和元年度社協会費増強運動について ・地域福祉座談会について ・デイサービスの訓練の協力について（離設者、火災、地震） ・職員の休憩（昼休み）について ・モラル及び秩序について

第８回	11月14日	・年末年始休業について ・起案について ・インフルエンザ予防接種について ・パソコンの入れ替えについて ・交通安全委員会の出席について ・パワーハラスメントについて
第９回	12月12日	・職員辞令交付について ・令和元年度第１８回『玉城町社会福祉大会』について ・令和２年度『元気ですたまきまつり』内部委員会について ・機密文書廃棄について
第10回	1月9日	・第１８回『玉城町社会福祉大会』について ・有給取得取り扱いについて ・交通法規について ・他者（他の職員も含む）への対応について
第11回	2月13日	・職員面談について ・交通法規について ・自己評価について
第12回	3月12日	・理事会、評議員会の開催について ・桜まつりについて＜中止＞　コロナウィルス感染予防のため ・人事異動について ・『元気ですたまきまつり』について ・交通法規について

（２）会員制度等の推進

①社会福祉協議会会員の加入促進及び地域福祉活動費への協力

会員区分＼年度			29		30		R1	
			会員口数	会　費	会員口数	会　費	会員口数	会　費
個人会員	300	円/口	1,722 口	523,220 円	1,779 口	535,087 円	1,737 口	521,300 円
団体会員	5,000	円/口	44 口	230,000 円	55 口	275,000 円	52 口	260,000 円
賛助会員	10,000	円/口	22 口	220,000 円	19 口	190,000 円	13 口	130,000 円
計			1,788 口	973,220 円	1,853 口	1,000,087 円	1,802 口	911,300 円

※端数金額が含まれているため口数と金額が相違します。

②寄附金　（円）

年　　度	29	30	R１
金　　額	1,793,145	1,284,802	1,295,447

（３）社会福祉協議会の役割や活動周知

地域福祉の担い手として行政との連携の元、ともに住民にサービスを提供し、さらに行政には出来ない住民等との関わりを補完的に担っています。

また、社協の力が福祉力、地域力となるよう心がけています。

①『元気ですたまきまつり』の開催

［２－（２）－①）］に同じ

日時：６月２日（日）　１０：００～１４：００

場所：保健福祉会館及びふれあいホール

テーマ：～平成から令和。つなげよう！玉城の和～

内容：広く住民の方に福祉の啓発を行う。また、地域活動の交流の場として開催。

②普及宣伝

・ 広報「たまき社協だより」発行

年４回予定（今年度発行：５月№70　８月№71　１１月№72　１月№73）

各４，９００部　町広報に挟み込み。　８ページの構成で発行。

・ ホームページの活用
・ ブログ・フェイスブックの活用
・ 防災無線での呼びかけ
・ 記者クラブへの周知

（４）役員・職員等の資質向上研修の取り組み
住民の方々に効果的・効率的なサービスを提供するため、事業別・業種別の研修をはじめ、全職員対象に実施しました。
職員勉強会
①８月２８日（４６名出席）
内容：『社会福祉協議会とはなにか、そして地域でその役割を発揮するにはどうしたらよいか』
講師：ユマニテク短期大学　講師　田村　禎章　氏

（５）各種関係機関・団体との連携強化
各関係団体との連携、ネットワーク構築は、地域福祉の推進者として社会福祉法に位置づけられた社協にとって中心的な活動といえます。
福祉５団体活動は独自の活動においても、町及び教育委員会等と連携の元、積極的に事業に参加、協力、支援を行い、他市町との連携もうまく取れています。

① 民生委員児童委員協議会活動
・ 役員会（毎月最終水曜日）
定例会事項検討を中心に、重要事項の事前協議を行う。

	開催日	内　　容
第１回	4月24日	出口　武委員の退任について 北海道大空町民児協との交流研修について 「元気ですたまきまつり」について H30年度活動集計報告について
第２回	5月29日	地域共生室からの連絡 三重県民児協大会について 「元気ですたまきまつり」について 学校訪問について
第３回	6月26日	単位民児協会長研修会について 三重県在宅福祉研修会について 認知症啓発イベントについて
第４回	7月31日	「楽笑会」について 敬老祝い金について 定例会を含む委員研修会について 改選に伴う引き継ぎについて
第５回	8月28日	敬老祝い金について 赤い羽根共同募金街頭募金について 歳末まごころ弁当について
第６回	9月25日	戦没者追悼式について 三重県社会福祉大会について 赤い羽根共同募金街頭募金について 委員研修会について《伊勢亀鈴会　施設見学》 歳末まごころ弁当について 引き継ぎ書類の確認について
第７回	10月30日	活動費の支払いについて 地域福祉座談会について NPO法人いろ葉（療育）見学報告について 三重県社会福祉大会について 楽笑会報告について
第８回	11月27日	改選に伴い自己紹介 民生委員の職務・役割・活動について 会則の変更について 理事たる役員の選出について 歳末まごころ弁当について 楽笑会報告について

第９回	12月25日	「活動記録」の記入について 新民生委員・児童委員会研修会について 中学校、町内小学校・町内保育所の卒園、入園等について
第１０回	1月29日	さまざまな消費者問題について 次年度計画について 備えトコについて 委員互助会について
第１１回	2月26日	令和2年度事業計画（案）について 療育「いろ葉・パルライフ」の見学の報告について 学校訪問（下外城田小学校）の報告について
第１２回	3月25日	認知症の方への対応において 令和元年度事業・決算報告、令和2年度予算（案）について 令和2年度社協会費について 元気ですたまきまつりについて 会員の弔意について 活動費支給について

・ 定例会（毎月第１水曜日）

各委員が交代で事例発表や意見交換をはじめ、専門部会、地区部会なども行い、情報交換の場となる。

	開催日	内　　容
第１回	4月3日	平成３０年度事業報告及び決算報告について 平成３１年度収支予算（案）について 平成３１年度社協会費のお願い 安全推進会議の報告について 三重県民生委員大会について 「元気ですたまきまつり」について 地区部会ミーティング
第２回	5月8日	出口　武委員の退任について 北海道大空町民児協との交流研修について 「元気ですたまきまつり」について H30年度活動集計報告について 地区部会ミーティング
第３回	6月4日	地域共生室からの連絡 三重県民児協大会について 「元気ですたまきまつり」について 学校訪問について 地区部会ミーティング
第４回	7月3日	単位民児協会長研修会について 三重県在宅福祉研修会について 認知症啓発イベントについて 大空町交流研修会をうけて 地区部会ミーティング
第５回	8月7日	「楽笑会」について 敬老祝い金について 定例会を含む委員研修会について 改選に伴う引き継ぎについて 地区部会ミーティング
第６回	9月4日	敬老祝い金の配布について 赤い羽根共同募金街頭募金について 歳末まごころ弁当について 地区部会ミーティング

第７回	10月2日	戦没者追悼式について 三重県社会福祉大会について 共同募金街頭募金について 委員研修について《伊勢亀鈴会　施設見学》 歳末まごころ弁当について 引き継ぎ書類の確認のについて 地区部会ミーティング
第８回	11月6日	活動費の支払いについて 地域福祉座談会について NPO法人いろ葉（療育）見学報告について 三重県社会福祉大会について 楽笑会報告について 地区部会ミーティング
第９回	12月4日	改選に伴い自己紹介 民生委員の職務・役割・活動について 会則の変更について 理事たる役員の選出について 歳末まごころ弁当について 楽笑会報告について 地区部会ミーティング
第１０回	1月8日	「活動記録」の記入について 新民生委員・児童委員会研修会について 中学校、町内小学校・町内保育所の卒園、入園等について 地区部会ミーティング
第１１回	2月5日	さまざまな消費者問題について 社会福祉協議会の事業について 備えトコについて 委員互助会について 地区部会ミーティング
第12回	3月4日	認知症の方への対応において 令和元年度事業・決算報告、令和2年度予算（案）について 令和2年度社協会費について 元気ですたまきまつりについて 会員の弔意について 活動費支給について 地区部会ミーティング

・毎月、定例会の中で部会ミーティング（高齢者・身障・児童部会）を開催
・心配ごと相談　毎月１０・３０日　の相談員として担当
・下校時安全パトロール　各学校区ごとに毎月１回以上実施
・毎月第３火曜　あいさつ強化デーに取組む
・「元気ですたまきまつり」に参加　（啓発・手作りフルーツ大福・重量あてクイズ）
・田丸城跡クリーン作戦（５月２６日　２６名　参加）

研修　5/14　三重県民児協委員大会
6/12～6/13　三重県単位民児協会長研修会
6/4　北海道大空町民児協との交流研修会
6/13　第１回南志ブロック主任児童委員研修会
7/25　第２回南志ブロック主任児童委員研修会
8/29　三重県主任児童委員研修会
9/3　第３回南志ブロック主任児童委員研修会
9/24、10/1　放課後デイ＜パルライフ＞見学
10/4、10/11　NPO法人＜いろ葉＞見学
10/16　三重県社会福祉大会
10/21　松阪地域・南勢志摩地域配偶者等暴力防止合同研修会
11/6　伊勢亀鈴会　施設見学
1/29　民生委員・児童委員中堅（専門）研修会
2/17　新任民生委員・児童委員研修会

福祉協力員の連携

福祉協力員は民生委員退任後、本会会長が委嘱し任期は３年。

福祉協力員の在り方を、属する地区の実情の把握と見守り活動を中心に行う規程に変更。

任期：令和元年１２月１日から令和４年１１月３０日

委員：２４名

（１）前委員での意見交換会　11月29日　　７名出席

（２）委員委嘱式及び規程変更説明　　12月24日　　16名出席

（３）地域への還付金詐欺に関する注意喚起資料送付

（４）社協と個別の連携　　6件

② 福祉団体活動　　（単位：人、円）

団体名	会員数	主な事業		町補助金
玉城町老人クラブ連合会	1,612	4月	町老人クラブ役員会	1,334,000
		5月	田丸城跡クリーン作戦参加協力	
			町老人クラブ役員会	
			町老人クラブ総会	
		6月	町老人クラブゲートボール大会	
		8月	町老人クラブ役員会	
			町老人クラブ理事会	
		9月	町老人クラブ役員会	
		10月	郡老人クラブカローリング大会	
			町老人クラブ大会・芸能大会	
		11月	町老人クラブ役員会	
		12月	保健福祉会館奉仕作業（門松作り）	
		2月	郡老人クラブ芸能大会	
玉城町身体障害者福祉会	91	4月	町身体障害者福祉会理事会	300,000
		5月	町身体障害者福祉会理事会	
			町身体障害者福祉会総会	
		8月	仲間と学ぶふれあいの集い	
			町身体障害者福祉会理事会	
		10月	町身体障害者福祉会理事会	
		12月	町身体障害者福祉会理事会	
		1月	町身体障害者福祉会理事会	
		2月	町身体障害者福祉会理事会	
			町身体障害者福祉会交流会	
玉城町遺族会	272	4月	町遺族会役員会	428,000
			護国神社参拝(春季大祭)	
		5月	町遺族会総会	
		6月	戦争体験学校講話	
			(田丸小学校1～6年生)	
		8月	県戦没者追悼式	
			戦争体験学校講話	
			(玉城中学校1年生)	
			町戦没者455柱供養（三縁寺）	
		9月	戦争体験学校講話	
			(外城田小学校5年生)	
		10月	玉城町戦没者追悼式	
			護国神社参拝(秋季大祭)	
		11月	度会郡遺族会交流事業	
		12月	三重県遺族会遺児研修会	
		1月	町教育委員会訪問（会長）	
玉城町母子寡婦福祉会	33	4月	総会	169,000
			町母子寡婦福祉会役員会	
		5月	花いっぱい運動参加協力	
		6月	元気ですたまきまつり	
		7月	町母子寡婦福祉会役員会	
			郡母子寡婦福祉会総会	
			会員交流会	
			（愛知県田原市親子交流館すくっと）	

		9月　中部地区母子寡婦福祉会研究集会 10月　郡母子寡婦福祉会理事会 11月　三重県母子寡婦福祉大会（津） 12月　クリスマス会 2月　郡母子寡婦福祉会理事会 3月　三重県母子寡婦福祉会理事会 ※毎月、福祉会館の草取り奉仕作業を実施	
玉城町手をつなぐ親の会	17	5月　総会 県知的障害者育成会評議委員会 7月　定例会 8月　はっぴぃサークルとの交流会 (ライブスペース勢の) 9月　定例会 三重県知的障害者福祉大会 10月　『共生社会ってなんだろう』の講演 定例会 三重県農福連携セミナー 11月　視察研修(グループホーム『和家』) (尾鷲市) 12月　農業ジョブサポーター養成講座 2月　企業見学会(おかげ横丁、伊勢福) ※毎月くらし部会に参加	40,000
		合計	2,271,000

③ 町や事業所間の連携
- 地元障害者就労施設の販路拡大に協力
- 防災意識の向上・醸成にボランティアが連携協力
- 生活困窮者支援体制強化のため、町及び県社会福祉協議会と連携協力
- 学校、各種団体等からの研修派遣要請に協力

２．地域福祉事業の推進

共同募金配分金を財源に活用した様々な事業です。

（１）身近な地域で福祉サービスを享受できる地域づくり（**老人福祉活動事業**）

人と人とのつながりに基づく地域生活に着目し、すべての地域住民一人ひとりの自立した生活が可能となるよう、個別の援助とそれに連動した地域の福祉活動に対する支援を積極的に行う事業です。

① サロン事業の支援と推進

地域の方々がボランティアスタッフになり、閉じこもりになりがちな高齢者の気軽な集いの場を設置。地域の支え合いにより介護予防や災害時などの支援にもつながる事業といえます。

○ いきいきサロン栄町（毎月第４水曜日：栄町公民館）（H17.2開始）（単位：人）

年度	29	30	Ｒ１
平均人数	26	25	21

○ サロン玉城苑（毎月第３木曜日：玉城苑集会所）（H17.11開始、H23.1休止、H24.1再開）

年度	29	30	Ｒ１
平均人数	16	17	16

○ ふれあいサロン(毎月第３水曜日：大手クラブ)（H18.2開始）

年度	29	30	Ｒ１
平均人数	27	26	20

○ 万年青の会(毎週月曜日：下田辺公民館)（H21.2開始）　中国健康体操

年度	29	30	Ｒ１
平均人数	14	12	12

○ 勝田町いきいきサロン（毎月第２水曜日：勝田町公民館）　(H21.9開始)

年度	29	30	R 1
平均人数	21	21	20

○ おふろサロン（毎週月・水・金曜日開催）
参加料：1回150円、回数券（8枚綴）1,000円）　(H22.4開始)

年度	29	30	R 1
登録人数	9	12	12
平均利用人数	3	3	2

② ほのぼの便（安否確認）

ボランティア（ゆずりは会）により毎月絵手紙を作成。民生児童委員と連携し毎月独居高齢者へ配達し、安否見守り活動に効果を上げています。

（単位：人）

年度	29	30	R 1
平均利用人数	144	138	133

③ 歳末援護事業（まごころ弁当）

75歳以上の一人暮らしの方を対象に希望者へ、12月30日に民生委員のご協力のもと「まごころ弁当」配布により安否確認を予定しています。

（単位：人）

年度	29	30	R 1
利用人数	169	159	146

④ ぴんの会

独居高齢者支援事業として地域包括支援センターと協働。平成23年2月設置。会食を中心に高齢者同士の集いの場としています。

（単位：人）

年度	29	30	R 1
開催回数	12	12	11
平均参加人数	31	28	26

⑤ 給食サービス

75歳以上の一人暮らしの方を対象に希望者へ毎月第１・３日曜日に昼食を届けています。ボランティア虹の会がふれあい型の活動として運営。事業費は共同募金が原資のため無料で提供。平成24年度から利用料（1回200円）を徴収、これを地域福祉費に充当しています。
また、切れ目のない支援ということで７～８月の配食は業者委託としています。

年度	29	30	R 1
回数	19	24	23
平均配達人数	28	28	26
延べ人数（配食数）	546	661	606

⑥ 配食サービス

平成３０年４月より、町の委託を受け、概ね６５歳以上の一人暮らしの高齢者及び高齢者のみの世帯等へ、毎月第２・４・５日曜日に昼食を届けています。配食は業者委託で、利用料は１回200円です。

年度	29	30	R 1
回数	－	28	27
平均配達人数	－	32	30
延べ人数（配食数）	－	863	819

⑦ 楽笑会（らくしょうかい）

平成２４年度から地域型のおたのしみ会として、閉じこもりがちな高齢者の地域参加の場を学校区単位で行い、地域の世代を超えた交流によってコミュニケーションを図っています。今年度も、全校区において開催しました。なお、田丸地区においては対象者が多いため、地区を二分し、田丸保育所と田丸小学校での開催としています。

【参加人数】　（単位：人）

年度	29	30	Ｒ１
下外城田	49（5）	49（6）	43(4)
有田	63(15)	57(10)	47(7)
外城田	65(5)	64(9)	67(7)
田丸（小学校）	96(18)	82(9)	97(19)
田丸（保育所）	271(15)	262(17)	270(12)

※（　）内は、対象高齢者人数

⑧ 備えトコ

平成25年度からの継続事業で、災害予防対策として災害弱者である７５歳以上のお一人暮らしの方を対象に防災啓発グッズを配布し、災害に対する自助的意識の向上を目的としています。３年に一度見直しを行い、民生児童委員に配布を依頼しています。

年度	29	30	Ｒ１
配布人数	199	36（新たに独居）	32（新たに独居）

（２）積極的に社会参加できる環境づくり **（福祉育成・援助活動事業）**

地域のすべての住民を対象に、社会福祉への理解と関心を高め、社会参加、社会連帯の精神を養うとともに、地域内における福祉教育の実践及び学習を通じ、地域の福祉力向上を目指す事業です。

① 元気ですたまき事業

・委員会の運営

平成２７年度２期目スタート。任期５年。現在委員１１人。アドバイザーに学校法人大橋学園　ユマニテク短期大学　講師　田村禎章氏を置いています。第２期地域ふくし力向上計画を中心に、住民課題を住民目線で共に考え解決に導いています。

２期目の計画では玉城町に関わる様々な人を「たまき人」と位置付け、前年度に引き続き、今年度はその方々に働きかけ、活動につなげてきました。

また、第２期計画を評価し、次年度から開始となる第３期地域ふくし力向上計画を策定しました。

（単位：人）

開催日	内　　容	参加人数
4月24日	第1回元気ですたまき委員会	8
5月29日	第2回元気ですたまき委員会	7
6月2日	元気ですたまきまつり　（ふくしの種飛ばし・アンケート）	6
6月26日	第3回元気ですたまき委員会	9
7月31日	第4回元気ですたまき委員会	8
8月3日	商工会夏まつり（アンケート）	5
8月28日	第5回元気ですたまき委員会	8
9月25日	第6回元気ですたまき委員会	7
10月12日	町民体育祭の参加・啓発	5
10月24日	RUN伴参加	4
10月30日	第7回元気ですたまき委員会	7
11月9日	ふれあいウォーキング共催	5
11月16日	地域福祉座談会	2
11月27日	第8回元気ですたまき委員会	7
11月30日	トレイルウォーキング（的山）	4
12月25日	第9回元気ですたまき委員会	8

1月29日	第10回元気ですたまき委員会	9
2月26日	第11回元気ですたまき委員会	7
3月14日	赤い糸の会（婚活事業）中止	－
3月25日	第12回元気ですたまき委員会	8

・ あいさつ強化運動

平成22年1月から毎月第3火曜日の早朝、田丸駅、小中学校、保育所であいさつ運動を展開し住民同士の絆づくりの一助となっています。

活動は、委員はじめ福祉協力員、民生児童委員、社協職員など。各活動箇所で毎回展開しているほか、玉城中学校では生徒会活動、有田小学校でも児童会活動として参加してくれています。引き続き、田丸駅では、青少年を育てる会の啓発活動も毎月一緒に行い、町内障害者施設の職員・利用者や一般の方も場所によっては、参加いただいています。

将来的な福祉教育の視点から、子どもたちへの働きかけは継続的に行っていきたいと思います。

（単位：人）

年度	29	30	Ｒ１
参加人数	432(11回)	358(10回)	437(11回)

・元気ですたまきまつりの開催

日時：６月２日（日）　１０：００～１４：００

場所：保健福祉会館及びふれあいホール

テーマ：平成から令和、つなげよう！玉城の和。

内容：広く住民の方に福祉の啓発、また、地域活動の交流の場として開催。実行委員会を中心に内容を検討、実施しました。天候にも恵まれ、約１，１００人の来場者があり、多くの方に地域力、福祉力をＰＲできたと考えています。昨年度に引き続き、オープニングに多くの参加をいただくため、体操に参加された方に喫茶白ゆりでの飲み物等交換チケットを配布しました。また、福祉に重きをおいたまつりとして、困っていそうな来場者への積極的な案内としておもいやりスタッフを配置しました。

引き続き、来場者や出店者等からのアンケートや意見をもとに、住民の方が参加しやすく、よりよい福祉のイベントになるよう努めます。

・元気ですたまき推進事業（オリジナル体操）

元気ですたまきのオリジナル体操は、町のイメージソングと共に平成１８年度に誕生。体操として、保育所、学校で活用されるようになっており、一般には桜まつり、アスピア玉城まつり、町民体育祭、民生児童委員活動など幅広く使われています。さらに、サロン活動や健康しあわせ委員の活動において健康づくりとして、地域の活動に取り入れられ、定着しています。

（単位：人）

開催日	会場	啓発内容	職員参加人数
4月7日	お城広場	玉城町桜まつり	6
5月14日	田丸小学校	運動会練習	2
6月8日	中央公民館体育館	町PTAソフトバレーボール大会	2
7月27日	アスピア玉城	アスピア玉城夏まつり	雨天中止
10月	アスピア玉城	アスピア玉城秋まつり	5

・「福祉の標語」募集

昨年度募集した「しあわせのフォト募集」に変わり、今年度は“元気”をテーマに「福祉の標語」を募集しました。応募総数は５４２通で、健康しあわせ委員会、青少年を育てる会と協働で選考し、社会福祉大会において優秀作品の表彰を行いました。

② 地域福祉活動計画の策定

地域福祉計画の活動計画の一部に位置付けた「地域ふくし力向上計画」は今年度で第２期計画（５か年計画）の満了を迎え、これまでの活動を振り返り、次年度から開始する第３期計画を策定しました。

③ 福祉用具等貸出事業
　車いす等福祉用具に関わる貸出事業を行っています。
　対象（社協会員になっている人、団体）

車いす貸出状況　（単位：件）

年度	29	30	Ｒ１
件数	26	57	54

備品貸し出し状況（送風機、綿菓子機、かき氷機、高齢者疑似体験セットなど）

年度	30	Ｒ１
件数	42	36

④ 集いの場創生事業
「地域ふくし力向上計画」２期目に掲載。
①元気ですたまき委員などが中心となった「おせっkaiたまき」の活動は若者支援として位置付けており、３月に開催を計画しましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止し、令和２年度の秋頃開催予定としています。
②引きこもりがちな住民への支援としても位置付けています。

（３）ボランティア活動及び福祉教育の推進**（ボランティア活動育成事業）**
　ボランティアに関する相談・斡旋、ボランティア養成・交流講座を実施し、ボランティアの育成や団体及び個人の自主的活動を支援します。

イ）ボランティアの養成、登録者の拡充と活動支援
① ボランティアセンター活動の充実
・ ボランティアセンター会議の開催

開催日	内容	参加団体数
5月10日	第１回　①「元気ですたまきまつり」について ②今年度センター事業について ③助成金の交付について　　ほか	8
R2年3月5日	第２回　①センター事業報告 ②各団体今年度の活動報告及び次年度Vo団体活動支援事業について ③次年度ボランティア活動保険について　ほか	11

・ ボランティア団体への支援（１６団体）　（単位：人・円）

団体人	会員数	主な事業	助成金
玉城町虹の会	58	一人暮らし高齢者への給食ｻｰﾋﾞｽや｢夢工房｣でのお手伝い。町内施設、ｲﾍﾞﾝﾄ時の支援や町内美化運動など	50,000
おもちゃ病院	8	おもちゃの修理を行う。 毎月第２土曜日開院。	40,000
はなはなおはなし会	12	町保健福祉会館、町内保育所、田丸小学校での定期的な絵本・紙芝居の読み語りほか。	10,000
マジックふらわぁ	4	各行事へ参加してのマジックの展示 保育所や福祉施設への訪問　ほか	9,000
絵手紙サークルゆずりは会	10	月２回定期開催（勉強会・絵手紙作成） 民生児童委員が安否確認時にお持ちする絵手紙を作成	29,000
悠ゆう塾サポーター	3	”悠ゆう塾”（行政事業）のサポーター活動	0
玉城語り部会	13	・町内観光のボランティアガイド ・歴史的文化財の探索調査　など	0

サポーター「さくら」	120	・認知症サポーターの育成 ・介護施設行事への参加　など	0
青色回転灯パトロールボランティア	10	住民の方の安全安心をより確かなものとするため町内をパトロール（教育委員会事業）	0
玉城町食生活改善推進協議会	72	栄養、健康づくり講習会・保健事業への協力・栄養改善大会への参加・健康体操	0
健康しあわせ委員会	41	健康づくり普及啓発	0
玉城町民生委員児童委員協議会	35	民生児童委員活動	0
玉城町防災ボランティア	21	防災の啓発 災害支援活動	0
バルーンボラ	6	町内イベントなどへ参加し、バルーンを通じて、心の元気につなげる。 現在活動休止中	0
参宮ブランド擬革紙の会	16	擬革紙の製作	0
笑いヨガ	4	笑いヨガの啓発	0
延べ	433	実人数　355人（内個人10人、災害1人）	合計 138,000

② ふれあい福祉サービス（ちょこっと有償ボランティア）

日常のちょっとした困りごとに登録ボランティアが支援を行っています。利用料はチケットにより清算。買い物やごみ出しなどのニーズが中心となっています。

（単位：件数）

年度	29	30	Ｒ１
利用者実人数	3	10	9
利用回数	321	412	331

※　買い物188件、ゴミ出し127件、掃除10件、その他6件

③ ボランティア交流事業

期日	内　容	参加団体（人数）
4月25日	わが町クリーンアップ 「伊勢湾森・川・海のクリーンアップ作戦」賛同 外城田地区：アスピア周辺道路 有田地区：荒子団地～ドン・キホーテ間道路	１１団体（４３人）
5月15日 5月26日	花いっぱい運動 保健福祉会館 田丸駅前花壇 グッディ交差点花壇	合計６団体（２０人）
6月2日	元気ですたまきまつり センター登録団体の啓発活動など。	１１団体（１０４人）

9月26日	わが町クリーンアップ 「伊勢湾森・川・海のクリーンアップ作戦」賛同 田丸地区：サニー道路、牛尾崎池周辺道路 下外城田地区：宮古～岩出間道路	６団体（２５人）
9月26日	花いっぱい運動 グッディ交差点花壇	６団体（１３人）
12月22日	歳末たすけあい運動（街頭募金）	９団体（１３人）

④イベントボランティアの募集
イベント型のボランティア活動。登録いただいた方には町内の地域貢献活動等の案内をおこない、活動へのきっかけ作りを行います。

年度	29	30	Ｒ１
登録人数	―	―	20

ロ）児童生徒の福祉意識の高揚
① 福祉体験教室の開催

子どもたちの福祉に対する基本知識の習得と、体験や地域住民との交流を通して考える機会とし、思いやりの気持ちを更に育んでいくことを目的に実施しました。

（単位：人）

開催日	内　　容	参加人数
8月1日	日赤講座（AEDの取り扱いなど） 高齢者デイサービス交流（玉城町社協通所介護事業所）	11
8月8日	町内の福祉の様子や施設の説明 障がい者施設見学（身障者就労センター上々） 防災について学ぶ（防災ボランティア）	11

② 福祉協力校の育成及び活動への助成
児童・生徒の社会福祉への理解を深め、地域とのつながりや社会参加の精神を養うとともに、児童・生徒の活動を通して家庭及び地域社会の啓発を図ります。また、協力校（全校）の教員との連絡会を開き、本事業についての説明（社協会費の充当など）、意見交換を行い、助成金の交付を行いました。

福祉協力校連絡会開催日：令和元年５月２１日（火）

（単位：人・円）

学校/児童生徒数	金額	（計画）主なもの
玉城中学校 ４７５人	97,000	福祉講演会・・社会が抱える福祉の課題、現状、概要などについて、福祉にかかわっている方などを招いて講演会を行う。
外城田小学校 ２３３人	70,000	訪問事業・・園芸委員会で育てた花の苗を「桜の里」へプレゼントしての交流や、JAや交番に花のプランターをプレゼントする。
田丸小学校 ３５８人	85,000	学校行事招待・・ボランティアさん紹介集会、ありがとう集会の実施。 運動会へ老人会を招待。
有田小学校 １７７人	67,000	奉仕活動・・地域の空き缶、ゴミ拾い。育てた花の苗を地域の人にプレゼントする。グリーンカーテンにも挑戦。

下外城田小学校 １４３人	64,000	体験学習・・玉城わかば学園との交流（小・中・高学年にわけ、各年2回）
合計	383,000	

③ 児童生徒の福祉参画促進

児童・生徒が地域福祉活動へ参画するためのきっかけづくりを支援しています。夏休みを利用して、福祉体験教室の開催、福祉の作文の募集を行いました。

また、「楽笑会」や「地域福祉座談会」を学校の授業内で開催することを定着させ、地域の方々と接点を持った活動の展開、またそこからの住民意識や地域愛の向上を図り、「ふくしの心」の育みに努めています。

・「楽笑会」　２．地域福祉事業の推進
（２-（１）-⑦）に同じ

・福祉教育（出前講座）
小中学校からの依頼を受け、各種体験学習を団体等と連携して実施しています。

内容	実施日	学校/生徒数	連携団体
車イス体験	6月15日	外城田小学校 3年、4年　80人	なし
	10月19日	有田小学校 3年、4年　56名	行政
	R2年1月24日	下外城田小学校 4年　26名	行政
防災体験	6月15日	田丸小学校 4年　61人	玉城町防災ボランティア
	10月11日	外城田小学校 4年45人、保護者45名	玉城町防災ボランティア
	10月19日	下外城田小学校 4年26人、保護者26名	玉城町防災ボランティア
本、紙芝居の読み聞かせ	6月15日	外城田小学校 1年、2年　71人	はなはなおはなし会
平和教育	9月14日	田丸小学校 1年～3年　184人 4年～6年　172人	遺族会
手話体験	R2年1月16日	下外城田小学校 4年　26名	手話っちカフェ

合計　9件

・「地域福祉座談会」

玉城中学校からの要望もあり、昨年度に引き続きyokko氏を講師として迎え、手話をテーマにおこないました。一般にも参加を促し、地域の聾者の方の参加もありました。

日　　時：１１月１６日（土）
講　　師：手話シンガーソングライター　yokkoさん
内　　容：手話ライブ
講演「手話と歌で笑顔になろう」
参加人数：220名（中学2年生146名、一般46名）

ハ）ふくし共育活動への参画

①地域福祉座談会
（２-（３）-（ロ）-③）に同じ

②防災ボランティア

住民の災害に対する意識啓発を図ります。

・定例会の開催　　12回（毎月第2木曜日）

・そのほかの活動

日にち	内　容	参加者
5月19日	下外城田地区防災訓練（行政主催）	ボラ12人
6月2日	元気ですたまきまつり　モデルルーム（台風21号水害啓発）、意識調査	ボラ5人
6月15日	防災体験教室（田丸小学校）	ボラ13人
6月30日	有田地区防災訓練（行政主催）	ボラ14人
7月27日～28日	防災キャンプ	一般参加者49人（日帰り27人宿泊22人）
10月11日	防災体験教室（外城田小学校）	ボラ11人
10月19日	防災体験教室（下外城田小学校）	ボラ9人
10月27日	田丸地区防災訓練（行政主催）	ボラ9人
11月10日	外城田地区防災訓練（行政主催）	ボラ8人
R2年1月27日	浜郷地区まちづくり協議会視察	ボラ10人

（４）障がい者の自立と社会参加の促進**（障がい児・者福祉活動事業）**

障がい者の生活を豊かにするため、障がいのある人もない人も対等な立場で様々な分野の社会活動に参加できるよう、環境づくりに努めています。

・はっぴぃサークル

町内に住む特別支援学級または特別支援学校在籍の小・中・高校生とはっぴぃ卒業者（18歳以上）、障がい者等を対象に地域の人と共に考え、共に過ごす機会と場の提供を行います。

（単位：人）

開催日	内　　容	参加人数	
8月19日	はっぴぃwith勢のinたまき《親の会とコラボ》AM:カレー作り　PM:勢のin玉城へ参加	43	(14)

（　）は対象児童、者数

・たまリンピック2019

誰もが安心して暮らせる地域づくりの一環として、玉城町で暮らす・働く障がい者が一堂に会し、レクリエーションを通して交流を深めています。

今年度もパラリンピックの種目でもある「ボッチャ」を行いました。

（単位：人）

年度	29	30	Ｒ１
参加人数	60	63	66

・手話っちカフェ

手話に関心のある方、障がいのある方が、気軽に集って、手話に触れることで、障がいについての理解を深めます。

（単位：人）

年度	29	30	Ｒ１
参加人数	112（10回）	71（7回）	90（9回）

・ライブスペース勢の！Inたまき
年齢、性別、国籍を問わず、あるいは障がいがあろうとなかろうと、さまざまな人が音楽を通して出会い、ふれあい、つながり合える集いの場を設けることにより、心豊かでやさしい町づくりを目指すものです。（通常は、村井楽器（伊勢）で行っています）

（単位：人）

年度	29	30	Ｒ１
参加人数	300	300	300

３．相談・援助事業

（１）福祉相談機能の充実強化

民生委員・行政相談委員・人権擁護委員による相談窓口を「心配ごと相談」として開催します。（毎月10日・30日）

（単位：件）

年度	29	30	Ｒ１
相談件数	8	8	10

（財産2、人権1、職業1、苦情１）

・ 窓口総合相談（ボランティア含む）

（単位：件）

年度	29	30	Ｒ１
相談件数	26	30	32

（内訳：ボランティア関係6）

（２）低所得者世帯の生活安定事業

生活福祉資金及び町世帯更生資金の有効活用を図り、低所得者世帯の生活安定と福祉向上に努めています。

本会は、町単独事業として独自の更生資金の貸し付けを行っていますが、県社協において平成２１年１０月、厳しい経済危機のもとで失業等による生活困窮が広がっている状況等を踏まえ、低所得者や失業者等の生活再建に向けた新たなセーフティネットの強化策が、継続的な相談支援とあわせて、生活費及び一時的な資金の貸付けを行う総合支援資金の創設等、制度の改正が行われたことをうけ、こちらを優先して支援相談に応じています。

・貸付相談数　（単位：件）

年度	29	30	Ｒ１
件数	15	14	16

・令和元年度　貸付状況

①生活福祉資金　（単位：件）

更生資金	総合支援資金	福祉資金	住宅資金	教育支援資金	緊急小口	計
1	3	5	1	2	5	17

②町世帯更生資金

更生資金	生活資金	住宅資金	就学資金	災害援助資金	療養資金	計
0	9	0	0	0	0	9

※年度内実績

（３）福祉サービス利用に関する相談援助事業

日常生活を営むうえで支障がある方に対し、福祉サービスの利用に関する相談・助言や手続き・支払い等の援助を行っています。

① 日常生活自立支援事業

県社協が事業主体となり平成２３年度からは県内のすべての市社協が基幹的社協として専門員を、町社協には推進員、支援員を配置し支援しています。平成27年4月より事業の名称が「日常生活自立支援事業」に変更となりました。また、平成３１年度より、全市町社協実施方式に移管し、『玉城町日常生活自立支援センター』が設置され専門員、改めて支援員が配置されました。

年度	29	30	Ｒ１
利用人数	12人	13人	17人
延べ支援回数	239回	226回	234回
支援員数	7人	7人	3人

② 生活困窮者自立支援事業

生活保護に至る前の段階の自立支援対策強化を図るため、福祉事務所設置自治体は生活困窮者の相談に応じ、個々人の状態にあった必要な支援を講じる「自立相談支援事業」の実施が平成２７年４月から必須となり、このため三重県は多気町を除く各町に対しても県社会福祉協議会に委託し自立相談支援センターの設置と各町社会福祉協議会との連携により支援体制をスタートしています。

このほか、同センターは任意事業である「家計相談支援事業」（家計に関する個別のプラン作成、助言）の支援もをもっています。

（単位：人・世帯）

年度	29	30	Ｒ１
自立相談支援事業	7	12	11（延べ６９回）
家計相談支援事業	0	0	0
就労支援事業	1	0	６（延べ２６回）

４．受託事業の運営

（１）バス事業

①研修バス

町のバスを使用して町事業はじめ、児童福祉、高齢者福祉、教育委員会の社会教育事業活動に研修バスとして委託運行しています。町内無料。町外２３円／㎞を利用者負担。

・ 依頼者別状況

依頼者	総務政策	税務住民	保健福祉	上下水道	建設	産業振興
依頼件数	6	0	20	0	0	7

議会	教育	病院老健	社協	各種団体	合計
0	144	0	10	15	202

※各種団体：社協所管５福祉団体及び民生児童委員協議会

・ 年度別依頼状況　（単位：件）

年度	29	30	Ｒ１
件数	256	233	202

② 福祉バス

高齢者、身体障害者等交通弱者の移動手段の確保と生活支援を目的とする委託運行バスです。

【福祉バス】

平成23年1月からは小俣図書館との1日2便（令和元年8月は4便）の運行。

・ 年度別利用状況　（単位：人）

年度	27	28	29	30	Ｒ１
利用人数	2,376	2,015	1,547	1,114	1,121

内訳　町内　274人
　　町外　847人

※８月の夏休み期間中は、試行的に１日４便（２便増便)としました。

【元気バス】
高齢者を中心とする交通弱者の町内移動手段
令和元年度の状況：
登録者数：1,868人

登録者性別		
男性：	606人	32.0%
女性：	1,262人	68.0%

登録者年代別	
65歳未満：	28.6%
65～69歳：	3.6%
70～74歳：	8.1%
75～79歳：	12.6%
80～84歳：	15.4%
85歳以上：	31.7%

利用者数：延べ 24,076人
1日平均延べ利用者数：67人

・運行概要
デマンド方式、運賃無料。
10人乗りワゴン車　平日3台（水曜日のみ2台）。土日祝日は1台体制。
8時50分から17時15分運行、年末年始のみ運休

・令和元年度利用状況　（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9
人数	1,972	2,030	2,059	2,310	2,151	2,036
月	10	11	12	1	2	3
人数	2,227	2,217	2,073	1,882	1,824	1,295

Ｒ１総計
24,076

・年度別利用状況　（単位：人）

年度	27	28	29	30	Ｒ１
利用人数	25,677	25,489	25,479	24,165	24,076

【すまいるバス】
介護予防事業に係る移動支援バス。
・令和元年度利用状況　（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9
人数	43	35	33	52	39	28
月	10	11	12	1	2	3
人数	52	38	49	44	40	0

R1総計
453

・年度別利用状況　（単位：人）

年度	27	28	29	30	Ｒ１
利用人数	1,781	1,529	963	890	453

火・水・金曜日に利用の多い介護予防事業への参加者をすまいるバスに一部移行し、元気バスの利用枠を拡大しています。

（２）各種福祉団体事業の運営
民生委員児童委員協議会をはじめ、福祉５団体（老人クラブ連合会、身体障害者福祉会、遺族会、母子寡婦福祉会、手をつなぐ親の会）を運営しています。
内容　［（１－（５））］参照

（３）ＩＣＴふるさと元気事業の運営
総務省の「ふるさとＩＣＴ元気事業」の採択を受けて以降、元気バスの予約をスマートフォンやタッチパネルパソコンを通じて予約できる仕組みを構築しましたが、元気バスを利用する方の約７割が６５歳以上ということもあり、予約の申し出方法は、電話によるものが約９割、窓口、インターネット、スマートフォンによるものが約１割となっています。
また、学校の長期休暇期間中に児童生徒の利用も散見される
・取材視察者への対応など
最近の傾向として、高齢運転者による事故が相次ぐ中、運転免許を自主返納する人も増えてきており、返納後の移動手段の確保や見守りを兼ねたシステムへの見聞視察が多くあります。

視察者：			
	４月２５日	明和町市民活動サポートセンター	８名
	６月２７日	奈良県上龍門地域まちづくり協議会	２１名
	７月２３日	岐阜県富加町議会	７名

８月　８日　静岡県島田市議会　６名
１０月２５日　北海道東川町役場　７名
１０月２９日　熊本県大津町議会　８名
１０月３０日　佐賀県みやき町議会　７名
１１月　７日　佐賀県多久市議会　９名
１１月　８日　宮崎県高原町議会　７名
１１月２１・２２日　沖縄県北谷町　３名
１１月２９日　長野県坂城町元議員　１名
令和２年　２月　７日　奈良県平群町地域公共交通会議　１１名

（４）高齢者等交通安全対策事業

平成２９年度より、町からの受託事業として、玉城町区域内における高齢者などの交通の安全に関し、総合的な施策を推進し、交通事故の防止を図ることを目的に、高齢者等の免許返納申請の支援、免許証返納高齢者に対して特典サービスの提供、福祉団体を通じての交通安全講習会や町内イベントでの啓発等を行っています。

年度	29	30	Ｒ１
免許返納バス利用者	13人	7人	11人
特典白ゆり利用	280回	224回	566回

（申請：5人　、受取：3人）

５．募金活動の推進

（１）日本赤十字社募金と地域福祉活動

日本赤十字社の活動は、地震や台風などの自然災害等が発生した際に、救護班を現地に派遣する「災害救護活動」、血液製剤の安定供給・国内自給の確保を目的とした「血液事業」など、多岐にわたっています。

当町においても、町内住宅火災時等に災害救援物資の配布、災害死亡弔慰金の支給を行っています。また、毎年５月は、全国一斉に赤十字社員増強運動が実施され、運動期間中は、赤十字思想の普及、赤十字社員組織の拡充と社資（寄付金）協力への呼びかけを行っています。（当町は、寄付金協力をお願いしています）

・年度別寄付金額　（単位：円）

年度	29	30	Ｒ１
金額	1,632,400	1,483,400	1,494,100

（２）共同募金と歳末助け合い活動

社会福祉法で位置付けられた「共同募金」は、きめ細かく創意に満ちた福祉活動を行う民間社会福祉事業の財政的支援として大きな期待が寄せられており、広くご協力を呼びかけ、毎年10月赤い羽根の募金としてなじみ深いものです。寄せられた募金は、地域のさまざまな福祉活動や福祉施設の充実、ボランティア活動を支えるためなどに役立てています。（「２．地域福祉事業の推進」各事業に充当されます。）

・年度別寄付金額（共同募金）　（単位：円）

年度	29	30	Ｒ１
金額	1,635,922	1,464,625	1,495,754

・年度別寄付金額（歳末助け合い）　（単位：円）

年度	29	30	Ｒ１
金額	182,520	171,720	157,388

（３）災害義援への協力及び活動

国内・国外で起きた自然災害に対し、災害義援金の募集・受付を行っています。

・災害義援金

①日赤平成30年度北海道胆振東部地震災害義援金

元気ですたまきまつり（ビンゴ）　29,200円

６．在宅福祉事業の運営

（１）介護保険事業の推進と実績

① 居宅介護支援事業

・ 令和元年度利用状況(予防を含む)　（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	172	172	173	174	177	174	155	148	145	140	144	144	1,918

・ 年度別利用状況　（単位：人）

年度	29	30	R 1
利用人数	1,875	2,008	1,918

② 通所介護支援事業

・ 令和元年度利用状況　（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	782	786	760	860	859	834	853	769	686	637	679	717	9,222

・ 年度別利用状況　（単位：人）

年度	29	30	R 1
利用人数	9,153	9,118	9,222

③ 訪問介護支援事業

・ 令和元年度利用状況　（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	542	492	465	546	574	504	547	487	512	457	449	500	6,075

・ 年度別利用状況　（単位：人）

年度	29	30	R 1
利用人数	7,613	5,703	6,075

（２）障害者支援事業の取り組みと実績

① 生活介護事業　夢工房たまき

・ 令和元年度通所状況　（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	213	217	195	215	211	207	214	199	174	171	184	193	2,393

・ 年度別利用状況　（単位：人）

年度	29	30	R 1
利用人数	2,581	2,473	2,393

・生活支援

排泄、食事、入浴、送迎等の支援等

・ 生活訓練及び創作活動

さをり織り・リサイクル活動・さをりマグネット・歩行運動・軽運動・レクリエーション

生活実習

買い物・外食・観賞

地域交流

ボランティアの受け入れ、環境保全会等への参加活動、小学生との交流

② 相談支援事業　みらい　　（平成２７年２月事業所開所）

・ 令和元年度相談（一般・障がい児）新規支援状況　（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	9	13	11	8	11	15	11	17	12	14	6	27	154

・ 令和元年度モニタリング（一般・障がい児）継続支援状況　（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	24	17	31	25	24	32	21	22	24	17	24	21	282

・ 年度別支援　（単位：人）

年度	29	30	R 1
利用人数	314	423	436

③ ホームヘルプサービス

. 令和元年度利用状況　（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	37	38	38	37	34	39	40	41	36	36	34	37	447

・ 年度別利用状況　（単位：人）

年度	29	30	R 1
利用人数	998	724	447

（３）移送サービス支援事業

① 福祉有償運送事業

・ 令和元年度利用状況　（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	164	131	128	139	106	127	64	91	89	61	68	66	1,234

・ 年度別利用状況　（単位：人）

年度	29	30	R 1
利用人数	1,790	1,412	1,234

７．地域住民からのニーズ事業の実施

（１）シルバー人材センター事業

・ 会員数の状況　（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
男子	157	158	158	159	160	162	157	148	137	132	133	117
女子	96	96	96	97	99	99	92	87	78	76	77	66
人数	253	254	254	256	259	261	249	235	215	208	210	183

・ 契約金額　（単位：円）

年度	29	30	R 1
金額	64,098,422	65,884,486	66,319,633